



## 2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月13日

上場会社名 イーソル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4420 URL https://www.esol.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 勝敏  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 久保田 伊佐雄 TEL 0120-065-166  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第3四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	7,384	13.7	737	22.9	850	39.4	614	41.2
2018年12月期第3四半期	6,497	—	599	—	610	—	434	—

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 622百万円 (50.4%) 2018年12月期第3四半期 414百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	30.20	—
2018年12月期第3四半期	26.65	—

(注) 1. 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。  
 2. 2018年12月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、2018年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	6,655	5,004	75.2
2018年12月期	6,125	4,382	71.5

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 5,004百万円 2018年12月期 4,382百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期（予想）	—	—	—	5.50	5.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：有  
 2019年12月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 4円00銭 記念配当 1円50銭  
 配当予想の修正については、本日（2019年11月13日）公表いたしました「配当予想の修正（増配及び東証一部市場変更記念配当）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,780	11.8	690	△1.2	800	16.5	574	9.6	28.24

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無  
 2. 当社は2019年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2019年12月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
 新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

- （4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期3Q	21,460,800株	2018年12月期	21,460,800株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	1,119,464株	2018年12月期	1,119,404株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期3Q	20,341,370株	2018年12月期3Q	16,320,720株

- （注）当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(追加情報) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢、個人消費に改善の動きが見られ、景気は緩やかな回復が続きましたが、米国の政策運営や世界的な保護主義の台頭による先行き不透明感により、海外経済は不確実性が高まっております。

当社グループの組込みソフトウェア事業がターゲットとして注力している自動車市場では、CASE（Connected つながる車、Autonomous 自動運転、Shared & Service シェアリングサービス、Electric 電動化）と呼ばれる領域が進展しており、同市場は大きな変革期にあります。また、自動車や医療分野を中心に、安全技術への需要が高まっており、機能安全規格の認証取得が求められる傾向にあります。

センシングソリューション事業がメインターゲットの1つとしている食肉市場では、食肉相場の変動や原材料価格の上昇など、企業収益に不安定な要素があります。

このような環境の中、当社グループは自動車関連業界をメインターゲットと位置づけ、ワンストップソリューションの提供に注力するとともに、研究開発への投資を引き続き行ってまいりました。食肉市場並びに倉庫・物流業界に対しては、指定伝票発行用車載プリンタ（以下「車載プリンタ」）並びにハンディターミナルの拡販を進めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高7,384百万円（前年同期比13.7%増）、営業利益737百万円（同22.9%増）、経常利益850百万円（同39.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益614百万円（同41.2%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

## (組込みソフトウェア事業)

当事業は、幅広い分野における電子機器向けの自社製ソフトウェア製品RTOS（リアルタイム・オペレーティング・システム）の開発・販売、受託開発を主に行っており、主な市場である自動車向け、AV機器向け、FA向けに製品及びサービスの提供を行いました。その結果、売上高6,845百万円（前年同期比16.3%増）及びセグメント利益713百万円（同15.3%増）となりました。

また、当セグメントの売上高の内訳としては、ソフトウェア製商品は1,439百万円（同8.8%増）、エンジニアリングサービス等は5,405百万円（同18.5%増）となっております。

## (センシングソリューション事業)

当事業は、冷蔵・冷凍食品市場、食肉市場及び物流市場において、車載プリンタやハンディターミナルの販売や、また、新たなセンサネットワーク関連ビジネスを進めました。ハンディターミナルの売上が前年同期比減となりましたが、その中でも自社製ハンディターミナルの販売に注力するように戦略を変更し、利益が改善しました。その結果、売上高535百万円（前年同期比11.3%減）及びセグメント利益16百万円（前年同期はセグメント損失29百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,875百万円となり、前連結会計年度末に比べて435百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が101百万円、受取手形及び売掛金が315百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は780百万円となり、前連結会計年度末に比べて94百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が43百万円、投資その他の資産が40百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、6,655百万円となり、前連結会計年度末に比べて530百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,396百万円となり、前連結会計年度末に比べて114百万円減少いたしました。これは主に賞与引当金が154百万円増加した一方、その他の流動負債が301百万円減少したことによるものであります。固定負債は254百万円となり、前連結会計年度末に比べて21百万円増加いたしました。これは主にその他の固定負債が13百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,650百万円となり、前連結会計年度末に比べて92百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は5,004百万円となり、前連結会計年度末に比べて622百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が614百万円増加したことによるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,547,574	3,648,575
受取手形及び売掛金	1,428,486	1,743,804
商品及び製品	122,337	110,556
仕掛品	186,841	190,706
その他	154,890	181,758
流動資産合計	5,440,130	5,875,402
固定資産		
有形固定資産	118,341	162,084
無形固定資産	56,428	66,759
投資その他の資産	510,791	551,475
固定資産合計	685,561	780,319
資産合計	6,125,692	6,655,722
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	495,939	542,442
未払法人税等	149,684	149,139
賞与引当金	43,997	198,936
受注損失引当金	18,755	4,431
その他	803,070	501,801
流動負債合計	1,511,448	1,396,751
固定負債		
役員退職慰労引当金	98,194	105,469
資産除去債務	31,328	40,438
持分法適用に伴う負債	71,927	64,421
その他	30,726	43,740
固定負債合計	232,176	254,069
負債合計	1,743,625	1,650,820
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,041,818	1,041,818
資本剰余金	942,093	942,093
利益剰余金	2,418,486	3,032,728
自己株式	△85,165	△85,280
株主資本合計	4,317,232	4,931,360
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,188	75,292
繰延ヘッジ損益	△864	△178
為替換算調整勘定	△489	△1,572
その他の包括利益累計額合計	64,834	73,541
純資産合計	4,382,067	5,004,901
負債純資産合計	6,125,692	6,655,722

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	6,497,492	7,384,451
売上原価	4,575,471	5,007,979
売上総利益	1,922,020	2,376,471
販売費及び一般管理費	1,322,307	1,639,357
営業利益	599,712	737,114
営業外収益		
受取利息	52	59
受取配当金	4,023	3,921
助成金収入	5,000	101,678
その他	4,574	7,853
営業外収益合計	13,650	113,513
営業外費用		
支払利息	793	—
株式交付費	203	—
株式公開費用	2,000	—
その他	41	45
営業外費用合計	3,038	45
経常利益	610,324	850,581
特別損失		
固定資産除却損	274	465
特別損失合計	274	465
税金等調整前四半期純利益	610,050	850,116
法人税、住民税及び事業税	234,502	221,522
法人税等調整額	△59,318	14,351
法人税等合計	175,184	235,874
四半期純利益	434,865	614,242
親会社株主に帰属する四半期純利益	434,865	614,242

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	434,865	614,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,633	9,103
繰延ヘッジ損益	△13	685
為替換算調整勘定	43	△1,082
その他の包括利益合計	△20,603	8,706
四半期包括利益	414,262	622,949
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	414,262	622,949

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	組込みソフトウェア事業	センシングソリューション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	5,883,259	603,525	6,486,785
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,265	—	2,265
計	5,885,525	603,525	6,489,050
セグメント利益又は損失(△)	618,735	△29,729	589,005

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	金額
報告セグメント計	6,489,050
セグメント間取引消去	△2,265
未実現利益の調整額	10,707
四半期連結損益計算書の売上高	6,497,492

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	589,005
未実現利益の調整額	10,707
四半期連結損益計算書の営業利益	599,712



当第3四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	組込みソフト ウェア事業	センシングソリューショ ン事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,841,537	535,407	7,376,945
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,321	—	4,321
計	6,845,859	535,407	7,381,267
セグメント利益又は損失(△)	713,278	16,330	729,608

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

売上高	金額
報告セグメント計	7,381,267
セグメント間取引消去	△4,321
未実現利益の調整額	7,506
四半期連結損益計算書の売上高	7,384,451

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	729,608
未実現利益の調整額	7,506
四半期連結損益計算書の営業利益	737,114